



令和5年
4月6日(木)

スタートの春を迎えて

春は別れと出会いの季節です。三月、お世話になった先生方や卒業生とお別れをしました。そして、今日、八名の新しい教職員を迎え、五十二名の新入生が入学いたしました。

新しい年度、新学期の始まりにあたり、お子様の進級、入学を心より祝い申し上げます。本日は、始業式・入学式において、生徒たちに期待を込めて、次のような激励の言葉を贈りました。

『以前より、三学期は助走の期間として準備をするよう話してきましたが、いよいよスタートの時が来ました。どうか、新たな出会いやスタートの時間を大切にしてください。』

しかし、短距離走ではありません。あまり硬くならず、これまで頑張って深めた自信をもとに、着々と歩みを進めてください。また、静かに自分を振り返り、これまで力をしっかりと発揮できなかったこと、きちんと取り組めなかったことがあったのなら、手のひらを反すように自分を変えてください。変えるチャンスが「春」であり、新学期だと思えます。

昨年から、皆さんに言い続けてきたことは、「なぜか、どつちか、本当か」と問うことでした。今年も自ら学ぶ気持ちを高め、自分自身の問いをもつて、納得できる答えを求め続けてください。

そして、知りたいこと、かなえたいことに向かつて粘り強く取り組み、前へ進めていくこと、深く掘り下げること、広く幅をまわしていくことを願っています。その結果が「学力」の向上、ひいては、「進路」の決定にもつながります。

「進路」とは、「高校選び」という狭い意味ではありません。「進路」とは何か。それは、「自分探し」の旅であるとも言われます。まずは、「自分はどんな感じ方やよさを持っているのか」をしっかりと見つめることです。

また、「進路」とは、「生き方」を考えることに他なりません。自分の感性やよさを活かすために、「将来自分は、どんな生き方をしたいのか」ということを、各教科や道徳・学活・総合的な学習の時間・学校行事・部活動など、あらゆる場を通じて、各学年の段階に応じて、ゆつくりと、また、早急に考えていきましょう。今後、仲間や先生との対話を通じて、考えを一段と、高め、深めていってほしいと思います。

さて、学校は、やはり、学ぶ場です。授業を大切にし、各教科の学力を確実に高めてほしいと思います。その力は物事を正しく判断し、先を見通すことができる力の礎となることでしょう。定期テストに追われることなく、計画的にしつかりと学習を進めてください。

今年度から、一学期の中間テストをなくします。日々の授業や単元ごとの復習をしつかりして着実に力を高めていきましょう。

当面は、四月末実施の「全国学力・学習状況調査(三年生)」や「みえスタディ・チエック(一

二年生)に取り組み、苦手な分野、あまり好きでない教科も学びを一ミリでも前進させましょう。そうした学びの中で、どうか、テストの点数だけに目をやらずに、教科書の世界を抜け出して、社会へと目を向けてください。授業で学ぶことが社会や世界とどうつながっているのかを自らの生き方とともに考えてください。

また、これから自分たちがきり拓いていく未来はどんな形をしているのか、その目を見開いて確かめてほしいと願っています。そのために今年度、新聞をもう一誌新たに加え三紙を廊下や教室前、図書室に配架することとしました。十分に活用してください。

合言葉は、「前へ!」。この一年間の皆さんの輝きと大きな飛翔(ジャンプ)を期待します。』

授業参観・PTA総会等のご案内

コロナ禍もようやく落ち着きを見せ始め、学校も以前の状態に戻る兆しが見えてまいりました。まだまだ油断はできませんが、対応に努めてまいります。本年度もどうかよろしく願います。

さて、来る、二十一日(金)には、授業参観(三年生修学旅行説明会・PTA総会も併せて実施)

がございます。子どもたちの学ぶ姿をぜひご覧いただきますようお願い申し上げます。

また、新入生の保護者の皆様方におかれましては、本日は、入学式にご出席をいただき、誠にありがとうございました。

